

これまでの信頼 -Trust- これからの希望 -Hope-



【企業概要】

本社 兵庫県姫路市花田町一本松字牛塚 1-1
代表者 代表取締役 切原 慎治
設立 昭和59年1月（1984年）
資本金 5,000万円
売上高 27億5,700万円（2021年度実績）
事業 車両管理事業、経営受託事業、安全運転
コンサルティング事業、軽貨物運送事業
人材派遣事業、太陽光発電事業
従業員 833名（2022年10月現在）
連絡先 TEL：079-252-0399
E:mail soumu@e-hope.co.jp
URL <http://www.e-hope.co.jp>



兵庫県立芦屋特別支援学校通学バスの運行管理

【代表者ごあいさつ】

当社は、昭和59年1月に神姫バスグループ会社として発足以来、39年余り大型車両から小型車両まで輸送技術と知識、経験を蓄積・共有しながら今日まで安全輸送に努めてきました。兵庫県下の官公庁、企業、団体からバス自家用自動車の管理請負をさせていただき、これまでの実績をさらにコツコツと積み上げ、今後もお客様へ安全、安心、信頼のサービスを提供してまいります。

また、神姫バスグループの企業理念「地域共栄 未来創成」のもと、派遣事業や公共施設の管理・運営事業を拓げるなど全力で取り組みながら社業を飛躍させ、地域社会の発展と貢献を今後も成し遂げてまいります。

【企業紹介】

1984年1月 株式会社ホープ 設立
1987年9月 姫路サファリパークで受託事業開始
受託車両台数3台からスタート
1995年3月 受託車両台数200台達成
2005年4月 経営受託事業開始
2006年4月 姫路、明石、赤穂市の施設運営受託

2007年4月 受託車両台数270台達成
同年以降、加西、宍粟、相生市の施設管理運営受託
2021年4月 神姫トラストホープ株式会社へ社名変更
安全運転コンサルティング事業開始

神姫バスグループの一員として「人を思いやること。そして、どんなことにも果敢に挑み責任をもってやり遂げること。」をモットーに、車両管理事業では蓄積した輸送サービスのノウハウと実績を活かし、経営受託事業では公共施設の指定管理者として地域の皆様へ応えられるように励んでいます。

【採用担当者から】

◇総務部総務課 課長 松尾卓哉氏

◇同係長 森昌吾氏

全従業員数833人のうち65歳以上の従業員397人（車両事業部347人・経営受託部50人）が、姫路・神戸・三田・阪神営業所と兵庫県内公共施設にシフト制勤務で従事しており、特に運転業務を担う従業員へは「安全第一」の徹底と体調管理に万全の体制を整えています。他企業と比較し高齢者雇用率は高いですが、当社は年齢、性別、職歴を問わず意欲ある人を採用して一緒に地域社会発展を考えていく立場を守り続けていきます。

【高齢従業員に対する環境整備など】

1. 働き方について

- ・姫路、神戸、三田、阪神営業所及び兵庫県内公共施設の指定管理に従事する職種は、交替制（シフト制）勤務が多く就業時間、休日、その他の労働条件に柔軟な対応をしています。
- ・次世代育成支援対策推進法に基づき2023年4月より3ヶ年の行動計画を策定・実施中です。

2. 福利厚生について

- ・現行70歳以上の運転職を対象に脳MRI検査費用を全額会社負担で実施しています。2023年度から50歳より脳MRI検査を実施します。
- ・健康診断の結果、再検査が必要な場合、検査費用の一部を会社が負担しています。
- ・入社年次に関わらず「永年勤続賞」を設けて感謝状・金一封を贈呈しています。

これまでの 信頼 -Trust- 希望 -Hope-

2021年4月入社の大矢千代美さん(64歳・姫路営業所所属)。23歳から運輸の仕事に携わり貨物トラック、タクシー、中型バス乗務歴40年のベテラン。観光バス会社を60歳で定年退職した後、しばらくのんびりしていたが、同級生の勧めで働き始め現在、週5日のフルタイム勤務。姫路、加西、加古川、たつの市エリアの病院、保育・幼稚園、学習塾、学生の送迎を担当。入社以来、常に翌日の乗務を意識して今日まで欠勤なし。「貨物輸送と違い、お客様と触れ合えるのが嬉しく姫路特別支援学校生徒や子どもたちの笑顔に元気で働けることの幸せを感じます。」と、印象的な言葉を述べられました。

従業員の方からお話を聞きました！



2014年4月入社 of 泉純慧さん(65歳・阪神営業所所属)。PTA活動と学童保育の経験を活かしたいと求人広告で応募。芦屋特別支援学校通学バス車内で生徒の介助補助業務に従事し週5日・1日5時間勤務。「最初は、少しずつ生徒とのコミュニケーションを深めていきました。現在は、優しく見守りながら声をかけるようにしています。」とのこと。「生徒の絵画作品展を鑑賞して非常に感銘を受けました。これからも障がいのある子どもたちの成長をしっかりと見届けていきたいです。」と熱く語り、下校する生徒への介助補助業務へと戻られました。



同じ職場で働いている2014年1月入社 of 吉田康広さん(68歳)、2015年3月入社 of 藤田智之さん(66歳)は、共に経営受託部配属。明石市から指定管理を受けた明石海浜公園・魚住北公園で施設管理をしています。吉田さんは、アパレル関係会社を60歳定年後入社し、施設長として「また来たいと思っていただける施設を目指して接客、電話対応、その他、細かな点まで行き届くように心がけています。」と話され、藤田さんは、某醤油メーカー営業職で全国を駆け回り退職後、当施設の植栽管理業務に従事しており「夏場の作業は大変ですが、刈り取った草や落ち葉で半年間かけて腐葉土を作り来場者へ自由に持って帰れるようにしたところ、皆さんから非常に感謝されています。」とのこと。「非常に働きやすい職場で良かった。」と、本音で語り合うお二人でした。



右から吉田さん、藤田さん